

令和5年度 福井市越廻小学校 校舎評価

学校教育目標「豊かな心を持ちたくましくともに生きる子の育成」

重点目標	具体的な取組	NO	評価対象	評価項目	評価	R5
自ら学ぶ豊かな学力	◎間接指導が、より豊かな学びの場となることを目指した複式授業の充実	1	児童	みんなで、何かをするのは楽しい。	A	100
		2	児童	授業は全体的に取り組んでいます。	A	100
		3	児童	授業の内容は、よく分かる。	A	94.4
		4	保護者	我が子は、基礎基本の学習内容をしっかりと身につけている。	B	88.9
		5	児童	先生は、授業内容を一生懸命教えてくれる。	A	100
	○表現する場の充実	6	家庭・地域・学校協議会	学校は、子どもたちが授業を理解できるように、努力している。	A	100
		7	教職員	本校は、児童個々や一人一人の児童の実態や理解度に応じた授業づくりに、積極的に取り組んでいます。	A	100
		8	児童	友達の意見を取り入れ、自分の考えを広げることができる。	A	100
		9	教職員	本校は、児童生徒の発言や質問を生かして、思考を深める授業に努めている。	A	100
		10	児童	グループの活動や話し合いは、積極的に取り組んでいます。	A	100
豊かな人間性	○朝読書の推進による朝読書週間定着	11	児童	宿題は忘れずにしている。	B	88.9
		12	児童	宿題以外に予習や復習など自分で考えた学習を家でしている。	B	83.3
		13	保護者	我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいます。	D	55.6
		14	家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、学習に意欲的に取り組んでいる。(家庭学習を含む)	C	75
		15	教職員	自分は、児童生徒が適切に家庭学習に取り組めるよう指導している。	A	100
	○生命や人権を尊重し、認め・助け・協力し合う仲間づくり	16	保護者	我が子は、自分なりに考え方を持ち、それを自分の行動に生かそうとしている。	C	77.8
		17	児童	一日30分間は、本を読んでいる。(朝読書をふくむ。)	B	83.3
		18	教職員	我が子は、読書をする習慣が身についている。	D	55.6
		19	保護者	本校は、児童生徒が、読書が好きになるような方策を工夫している。	A	100
		20	教職員	本校は、研究主題を選定するための研究体制や研究会が適切に行われている。	A	100
健やかな心と体	○継続実践による非認知能力の向上	21	児童	先生は、自分の良い点やがんばったことをほめてくれる。	A	100
		22	教職員	自分は、児童生徒の良い点やがんばっている点を積極的に認め、ほめている。	A	100
		23	児童	先生は、よくないことをした時にはちゃんとしかつてくれる。	A	100
		24	教職員	自分は、児童生徒のよくない行動や態度に対して適切な指導をしている。	A	100
		25	児童	学校生活が充実していて、学校へ通うのが楽しい。	A	100
	○将来的夢や人生目標などを、生き方を学ぶ教育活動の推進	26	保護者	我が子は、家庭生活を楽しんでおり、友人関係も良好である。	B	88.9
		27	家庭・地域・学校協議会	学校は、学校行事を通して、子どもたちが楽しく学校生活を送っている。	A	100
		28	教職員	本校の子どもたちは楽しく学校生活を送っている。	A	100
		29	児童	いろいろなことを相談できる友達がいる。	B	88.9
		30	教職員	委員会活動やしおかぜグループの活動を、がんばって取り組んでいる。	A	100
地域に学ぶ	○地域素材の活用と地域の方々との交流活動の推進	31	保護者	自分は、児童生徒が自分主導的行動や行動ができるように、意識しながら指導を行っている。	A	100
		32	家庭・地域・学校協議会	我が子は、あいさつや正しい言葉をつかうのマナーを心がけている。	C	77.8
		33	教職員	我が子は、思いやりの心をもち、他者に優しくしようと心がけている。	C	77.8
		34	児童	いじめを見たら、まいりの大人に知らせたり、とめたりすることができる。	B	83.3
		35	教職員	地域の人々にあいさつをしている。	B	88.9
	○自らを守る安全教育の推進	36	保護者	本校の児童は、地域でのあいさつをがんばっている。	B	88.9
		37	家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、元気にあいさつをし、人に親切にしている。	C	75
		38	児童	道徳の時間には、考へを深めることができます。	A	100
		39	教職員	自分は道徳の授業時間を探探し、心を惹きさせたり向き合ったりする指導に努めている。	A	100
		40	児童	苦手なことやできないことにチャレンジしている。	A	100
	○地域の人の自然・歴史・文化・行事との関わりから、多面的多角的な学びを生かし、ふるさとを愛する心を育てる。その中で地域に開かれ地域と共に、地域と共に歩む学校づくりをめざす。	41	教職員	教職員は、模範となる音頭を示すとともに、子どもたちや保護者に、誠実に対応している。	A	100
		42	児童	将来の夢やめざす目標をもっている。	B	83.3
		43	保護者	我が子は、つきたい職業など、将来の夢や目標をもっている。	D	55.6
		44	家庭・地域・学校協議会	本校は、児童生徒が夢や特長の目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	A	100
		45	教職員	学校は、子どもたち一人ひとり大切にし、あたたかく指導している。	A	100
		46	保護者	学校は、子どもたちひとりひとりを大切にし、あたたかく指導している。	A	100
		47	家庭・地域・学校協議会	自分は、子どもたちの悩みや相談に親身になって対応している。	A	100
		48	教職員	本校は、関係機関と連携をとり、校門で講話を共有したりして、講話をかみえる児童生徒に十分な支援を行っている。	A	100
		49	児童	本校は、報告・連絡・相談を適切に行い、各職員が連携・協力して仕事を進めている。	A	100
		50	教職員	越廻のことを調べたり、地域活動にたりする時間は、楽しい。	A	94.4
	○自らの心と体の育成	51	教職員	学校は、児童生徒が郷土福井への心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいます。	A	100
		52	家庭・地域・学校協議会	学校は、地域の教育力・地域の人材・施設・伝統・文化等)を生かそうとしている。	A	100
		53	児童	地城の行事や活動に参加している。	B	83.3
		54	保護者	本校の児童は、地域の行事(公民館の行事や地域の祭りなど)に参加している。	A	100
		55	家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、公民館の活動や祭りなどに参加している。	C	75
		56	教職員	本校は、地域やP.T.Aを大切に考え、取り組んでいる。	A	100
		57	児童	本校は、中学校区の指す子どもとの姿の実現に向けて、取り組んでいる。	B	83.3
		58	教職員	我が子と相談して、SNSやゲームについて家庭のルールを決めている。(1日60分以内など)	C	77.8
		59	保護者	学校であったことを他の人に話している。	C	77.8
		60	児童	学校であったことを話してくれる。	A	100
		61	保護者	学校は、「PTA総会」「教諭会」「生徒だより・学生だより」「授業参観」等を通じて、保護者に教科方針や教育内容を適切に伝えている。	A	100
		62	家庭・地域・学校協議会	学校は、授業や学校行事等を積極的に公表し、保護者が学校での子どもたちの様子を知るための機会をつくっている。	A	100
		63	教職員	子どもに開くことで、学校に相談できる。	D	66.7
		64	家庭・地域・学校協議会	学校へは、子どものことで気軽に相談したり、要望を伝えたりすることができる。	A	100
		65	保護者	学校は、電話をかけ時や学校を訪れた時など、適切に応対している。	A	100
		66	家庭・地域・学校協議会	本校は、保護者との意思疎通や電話、来校者の対応を誠実に行っている。	A	100
		67	教職員	学校は、保護者や地域の方々の懸念に応えようと努力している。	A	100
		68	児童	本校は、不審者への対応や災害、交通安全など、子どもたちの安全に配慮している。	A	100
		69	保護者	学校は、不審者への対応や災害、交通安全など、子どもたちの安全に配慮している。	A	100

アンケートの評価 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計の百分率 90%以上=A 80%以上=B 70%以上=C 70%未満=D